令和４年６月 30 日

令和４年度　　第４号

学　校　だ　よ　り　７・８月号

自分大好き　みんな大好き　ひとみかがやく　西が岡の子

横浜市立西が岡小学校　泉区西が岡 3-12-11　☎814－3603
http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka/

交通事故から守るために

校長　佐藤　裕二

先週から真夏のような暑さが続き、体調管理が難しい季節になってきました。それでも子どもたちは、元気いっぱいに学校生活を送っています。寒かった季節に比べて、正門前の横断歩道に立っている私に、「おはようございます。」と自分から挨拶をする児童が増えてきたようにも感じます。朝の気温の上昇とともに、子どもたちのエンジンのかかり具合も早くなっているのかもしれません。

さて、６月８日（水）に泉交通安全協会の方を講師に招き、交通安全教室を実施しました。１・２年生は、一人ひとりが死角実験や歩き方のルールの確認などの体験活動、３・４年生は、クラス代表者による車の死角と自転車の点検、交差点の正しい渡り方などの体験活動、５・６年生は、自転車のマナーとルールに関する講義と、発達段階に応じた内容を体育館で行いました。年齢的にみても、１・２年生は、登下校も含めて子どもだけで行動する機会が増え、子ども自らの飛び出し等によって交通事故に巻き込まれるケースが多いと言われています。また中学年くらいからは自転車で遠出をする子どもも増え、自転車乗車中での事故が増えていくようです。

毎朝、登校時に正門前の横断歩道に立っていますが、交通安全教室をきっかけに、しっかりと手を挙げて横断する子どもが増えました。横断前に手を挙げることは、運転者に渡る意思があることを伝える意味があると、交通安全教室でも学習していました。実際、信号機のない横断歩道でも自動車がきちんと停まってくれる地域では、横断者がしっかりと手を挙げて「渡りたい」という意思表示をすることと、停止した運転手へ会釈をして感謝の気持ちを表すことが子どものころから教育されているそうです。

あと１か月で夏休みになります。子どもだけで出かける機会も増えると思います。楽しい夏休み中に、悲しい事故にあうことのないよう、ご家庭でも道路の横断の仕方や自転車の乗り方について話題にしたり、お子さんと一緒に出掛けた際にはできていることを評価したりしていただけると幸いです。

＜資料＞　令和３年中市内交通事故発生状況（横浜市交通安全対策協議会資料より抜粋）

■人身交通事故件数

横浜市　7,883 件（前年比　485 件増）

■自転車乗車中の人身交通事故件数

横浜市　1,741 件（前年比　148 件増）